

## 資料1

## DMAT指定病院一覧

令和8年3月31日現在

医療機関名	医療圏	電話番号	FAX番号
奈良県立医科大学附属病院	中和	0744-29-8962	0744-22-4121
奈良県総合医療センター	奈良	0742-46-6001	0742-46-6011
市立奈良病院	奈良	0742-24-1252	0742-22-2478
済生会中和病院	東和	0744-43-5001	0744-42-4430
近畿大学奈良病院	西和	0743-77-0880	0743-77-0890
大和高田市立病院	中和	0745-53-2901	0745-53-2908
南奈良総合医療センター	南和	0747-54-5000	0747-54-5020
奈良県西和医療センター	西和	0745-32-0505	0745-32-0547
宇陀市立病院	東和	0745-82-0381	0745-82-0654
天理よろづ相談所病院	東和	0743-63-5611	0743-62-1922

## (参考)DMATチーム等整備状況

令和8年3月31日現在

医療機関名	医療圏	チーム数	統括DMAT数
奈良県立医科大学附属病院	中和	6チーム	3名
奈良県立総合医療センター	奈良	4チーム	5名
市立奈良病院	奈良	2チーム	2名
済生会中和病院	東和	2チーム	1名
近畿大学奈良病院	西和	2チーム	1名
大和高田市立病院	中和	2チーム	1名
南奈良総合医療センター	南和	3チーム	2名
奈良県西和医療センター	西和	2チーム	
宇陀市立病院	東和	2チーム	1名
天理よろづ相談所病院	東和	1チーム	2名
計		26チーム	18名

資料2

災害拠点病院一覧

令和8年3月31日現在

医療機関名	医療圏	電話番号	FAX番号
◎奈良県立医科大学附属病院	中和	0744-29-8962	0744-22-4121
○奈良県総合医療センター	奈良	0742-46-6001	0742-46-6011
○市立奈良病院	奈良	0742-24-1252	0742-22-2478
○済生会中和病院	東和	0744-43-5001	0744-42-4430
○近畿大学奈良病院	西和	0743-77-0880	0743-77-0890
○大和高田市立病院	中和	0745-53-2901	0745-53-2908
○南奈良総合医療センター	南和	0747-54-5000	0747-54-5020

◎基幹災害拠点病院、災害拠点精神科病院

○地域災害拠点病院

## 資料3

関係機関一覧

令和8年3月31日現在

県庁	電話番号	FAX番号
福祉保険部医療政策局地域医療連携課	0742-27-8935	0742-22-2725
総務部知事公室防災統括室	0742-27-8425	0742-23-9244
総務部知事公室消防救急課	0742-27-8423	0742-27-0090
代表番号	0742-22-1101	—

保健所	電話番号	FAX番号
郡山保健所	0743-51-0191	0743-52-6095
中和保健所	0744-48-3030	0744-48-3132
吉野保健所	0747-52-0551	0747-52-7259
奈良市保健所	0742-93-8392	0742-34-2482

消防機関	電話番号	FAX番号
奈良市消防局	0742-35-1199	0742-33-8436
生駒市消防本部	0743-73-0119	0743-73-0111
奈良県広域消防組合消防本部	0744-26-0119	0744-22-5219

市町村	電話番号(内線)	FAX番号
奈良市(危機管理課)	0742-34-4930(261)	0742-35-3635
大和高田市(危機管理課)	0745-22-1101(3372)	0745-52-2801
大和郡山市(災害対策課)	0743-53-1151( 629)	0743-53-1049
天理市(防災安全課)	0743-63-1001( 409)	0743-62-0100
橿原市(危機管理課)	0744-22-4001( 730)	0744-23-2511
桜井市(危機管理課)	0744-42-9111(1411)	0744-42-1747
五條市(危機管理課)	0747-22-4001( 371)	0747-25-0211
御所市(危機管理課)	0745-62-3001( 592)	0745-62-5425

市町村	電話番号(内線)	FAX番号
生駒市(危機管理課)	0743-72-2573(3111)	0743-74-1196
香芝市(危機管理課)	0745-44-3305( 352)	0745-76-2181
葛城市(生活安全課)	0745-45-5011(1242)	0745-69-6456
宇陀市(危機管理課)	0745-82-1304(3141)	0745-82-3900
山添村(総務課)	0743-85-0041( 14)	0743-85-0219
平群町(総務防災課)	0745-45-1001( 225)	0745-45-6619
三郷町(総務課危機管理室)	0745-43-7311( 234)	0745-73-6334
斑鳩町(安全安心課)	0745-74-1103( 272)	0745-74-1011
安堵町(安全安心課)	0743-57-1511( 811)	0743-57-1525
川西町(総務課)	0745-44-2211( 254)	0745-44-4734
三宅町(総務課危機対策室)	0745-44-2001( 215)	0745-43-0922
田原本町(防災課)	0744-34-2059( 167)	0744-32-2977
曾爾村(総務課)	0745-94-2101( 224)	0745-94-2066
御杖村(総務課)	0745-95-2001( 213)	0745-95-6800
高取町(総務課)	0744-52-3334( 216)	0744-52-4063
明日香村(総務財政課)	0744-54-2001( 252)	0744-54-2440
上牧町(総務課)	0745-76-1001( 226)	0745-76-1002
王寺町(防災統括室)	0745-73-2001( 242)	0745-32-6447
広陵町(安全安心課)	0745-55-1001(1233)	0745-55-1009
河合町(危機管理課)	0745-57-0200( 242)	0745-56-4007
吉野町(総務課)	0746-32-3081( 219)	0746-32-8855
大淀町(総務課)	0747-52-5501( 209)	0747-52-4310
下市町(総務課)	0747-52-0001( 239)	0747-54-5055
黒滝村(総務課)	0747-62-2031( 13)	0747-62-2569
天川村(総務課)	0747-63-0321( 120)	0747-63-0329
野迫川村(総務課)	0747-37-2101( 113)	0747-37-2107
十津川村(防災対策課)	0746-62-0910( 252)	0746-62-0970

市町村	電話番号(内線)	FAX番号
下北山村(総務課)	07468-6-0001( 221)	07468-6-0377
上北山村(総務企画課)	07468-2-0001( 25)	07468-3-0265
川上村(総務税務課)	0746-52-0111( 16)	0746-52-0345
東吉野村(総務企画課)	0746-42-0441( 210)	0746-42-0446

## DMAT赤バッグ医療資機材

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

単品	
喉頭鏡又はビデオ喉頭鏡	
ブレード 2/3/4	各1
気切用カニューレ 7mm	1
輪状甲状靱帯穿刺用キット	2
マギール鉗子	1
開口器	2
舌鉗子	2
バイトブロック	3
挿管チューブ固定用テープ	各種
リザーバー付きマスク	3
酸素延長チューブ	3
酸素延長チューブコネクター	3
フィルター	2
吸引カテーテル 6.12Fr	各3
経鼻エアウェイ 6.7.8mm	各1
バックバルブマスク	2
ポンプ用輸液セット	3
小児用輸液セット	3
三活付延長チューブ	3
注射用シリンジ1ml	3
注射用シリンジ2.5ml	5
注射用シリンジ5ml	5
注射用シリンジ10ml	5
注射用シリンジ20ml	5
注射用シリンジ50ml	3
18G注射針	30
23G注射針	10
静脈留置針 18/20/22/24G	各3
カテラン針22/23G	各5
保護栓	15
アルコール綿	適宜
穴開きドレープ	1
ガーゼ 八つ折	1
ディスポメス No.11	1
針付きナイロン縫合糸 3-0	1
消毒用綿球、撮子	各1
滅菌手袋 6/6.5/7/7.5	各1
固定用絆創膏	5

## 気管挿管セット 3セット

挿管チューブ 6/7/8	各1
カフ用シリンジ 10cc	1
気管チューブホルダー	1
スタイレット	1

## 器械類(単包)

ペアン(曲)	1
クーパー	1
持針器	1
有鉤撮子	1
筋鉤	1

## 静脈路確保セット 3セット

静脈留置針 18/20/22G	各1
骨髄輸液針 option 16/18G	各1
駆血帯	1
アルコール綿	3
点滴回路(ポンプ)	1
三方活栓付延長チューブ	1
固定用透明フィルム	1
固定用絆創膏	2
輸液(生理食塩水) option	1

## 単品

経皮的局所麻酔剤	1
手袋(未滅菌)	1
サージカルマスク	1箱
SpO2モニター	1
血圧計	2
電池(喉頭鏡用)	各種
モニター用電池	各種
心電図モニター用電極(シール)	3セット
聴診器	2
ペンライト	1
体温計	1
はさみ	1
医療搬送カルテ	10
トリアージタグ	20
筆記用具	5
バインダー	5
SCU受付用紙	20
カーボン用紙	5

DMAT標準医療資機材

DMAT黄バッグ医療資機材

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

単品	
静脈留置針 14G	2
気胸セット	2
コネクター付きコネクティングチューブ	2
胸腔ドレーン 28Fr、20Fr	各2
消毒用綿球	4
針付ナイロン縫合糸 3-0、0号	各3
ディスポメス No.11、10	各2
8つ折ガーゼ	5
4つ折ガーゼ	5
穴あき滅菌ドレープ	2
滅菌ドレープ	2
スキンスタイプラー	1
滅菌手袋 6/6.5/7/7.5	各3
固定用絆創膏	2
固定用透明フィルム	10
弾性包帯3号	2
弾性包帯4号	5
ネックカラー 成人用	1
バストバンド M・L	各1
スプリント	1
三角布	3
エスマルヒ又は止血帯	1
膀胱留置カテーテル14Fr	1
血糖測定器	1
血糖測定用チップ	10
平オムツ	2
ゴミ袋	1
手袋(未滅菌)	1
体温計	1

薬剤	
洗浄用生食500ml	1
ポビドンヨード液	2
クロルヘキシジン	1
経皮的局所麻酔剤	2

器械類(単包)	
ペアン(曲)	4
コッヘル(直)	2
モスキートペアン(曲)	2
クーパー	3
持針器	3
有鉤撮子	3
無鉤撮子	1
筋鉤	1
ゾンデ	1
撮子	3

胃管セット(2セット)	
胃管 16/18Fr	各1
胃管用三方活栓	1
排液用バッグ	1
吸引用シリンジ	1
固定用絆創膏	1

腸管脱出セット(1セット)	
ビニール袋(できれば滅菌)	1
生食100ml	1
18G注射針	1
固定用絆創膏	1
ガーゼ 四つ折(20)	1
食品用ラップ option	1

穿通性外傷(1セット)	
固定用タオル	2
固定用絆創膏	1

骨盤骨折(1セット)	
シーツ	1
チューブ鉗子	2
固定用テープ 7.5cm幅	1
骨盤固定帯 option	1

フレイル外固定セット(1セット)	
固定用タオル	1
固定用絆創膏	1

## DMAT標準医療資機材

## DMAT緑バッグ医療資機材

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

## 単品

中心静脈路キット (ダブル)	2
ポンプ用輸液回路	5
小児用輸液回路	5
三活付延長チューブ	5
針付ナイロン縫合糸 3-0	2
滅菌手袋 6/6.5/7/7.5	各1
消毒用綿球	3
ディスポメス No.11.10	各1
穴開きドレープ	3
滅菌ドレープ	2
4つ折ガーゼ	10
8つ折ガーゼ	5
スキンスティプレー	1
尿道留置カテーテル14Fr	2
手袋(未滅菌)	1
速乾性手指消毒剤	1
アルミシート	3
平オムツ	2
網包帯(中)	1
ゴミ袋	1
針捨てBOX	1
ハザードバック	1

## 器械類(単包)

ペアン(直)	2
コッヘル(直)	2
モスキートペアン(曲)	2
クーパー	1
持針器	1
有鉤撮子	1
無鉤撮子	1
筋鉤	1
撮子	3

## 胃管セット(1セット)

胃管 16/18Fr	各1
胃管用三方活栓	1
排液用バッグ	1
経皮的局所麻酔剤	1
吸引用シリンジ	1
固定絆創膏	1

## 単品

ネックカラー 成人/小児	各1
固定用スプリント	1

DMAT標準医療機器・関連機材

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

体外式自動除細動器(AED)	1
携帯型超音波診断装置(ガイド下穿刺が可能なエコーが望ましい) ※エコープローブカバー	1
移動用モニター(付属品含む)(※)	2
モニター用充電コード	2
モニター用予備バッテリー	2
輸液ポンプ(※)	2
ポンプ用充電コード	2
携帯用吸引器	1
携帯型人工呼吸器(付属品含む)(※)	1
(酸素駆動型人工呼吸器は酸素ボンベとの適合性を考慮)	
呼気終末CO2モニターoption	1
バックボード	1
バックボード用ストラップ	1
固定用結束バンド(※※)	1
酸素ボンベ 500L	2
減圧弁	1
流量計	1
毛布	2
ターポリン担架	2

※モニター、輸液ポンプ、人工呼吸器、AED、携帯型吸引器については長時間  
バッテリー駆動が可能なものが望ましい

※※バックボードへの資機材固定用バンドについて(結束バンド)  
結束バンド(インシュロック)は以下のものを推奨しますがこれに準ずるものであれば可能です。

メーカー OHM(オーム)電機  
名称 幅広ロックタイ  
370mm 50本入り 結束内径102mm 引張強度54.4kg 幅7.6mm

DMAT標準薬剤リスト

対象3人

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

区分	薬品名	数量	備考
細胞外液補充液	生理食塩液 500ml	3	
	リンゲル液 500ml	5	
その他輸液	20%D-マンニトール注射液 300ml	1	
	7%炭酸水素ナトリウム注射液 250ml	1	
	7%炭酸水素ナトリウム注射液 20ml	5	
	生理食塩液 100ml	5	
	生理食塩液 20ml	10	
	5%ブドウ糖液 20ml	5	
蘇生薬剤一式	アドレナリン注0.1%シリンジ /ボスミン1mg	5	
	塩酸リドカイン0.2%静注用シリンジ /2%キシロカイン5ml	3	
	アトロピン注0.05%シリンジ	3	
	ロクロニウム臭化物	3	毒薬
	ブリディオオン500mg	2	
	レペタン0.2mg	麻薬がないとき どちらか10	第2種向精神薬
	ソセゴン注射液 15mg		第2種向精神薬
	ミダゾラム注射液 2ml	5	第3種向精神薬
	セルシン注射液 5mg	5	第3種向精神薬
	0.3%塩酸ドパミン注 600mg	1	
	2%塩化カルシウム注射液 20ml、または8.5%グルコン酸カルシウム注射液 5ml	5	
0.5mol硫酸マグネシウム注射液 20ml	5		
その他	50%ブドウ糖液 20ml	4	
	塩酸ニカルジピン注射液 2mg	5	
	ソル・メドロール125mg	5	
	ワソラン静注 5mg	3	
	アセリオ静注液1000mg	3	
処置・内服	ケイキサレート散5g/ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物5g	12	
処置	10%ポビドンヨード液 250ml	1	
	キシロカイン注ポリアンプ1% 10ml	10	
	注射用蒸留水 20ml	10	
吸入	メプチンエア-10μg	1	
スプレー	ミオコールスプレー 0.3mg	1	
麻薬	※塩酸ケタミン静注用 200mg	1	麻薬

※「DMAT登録医師が麻薬施用者免許を受けた都道府県以外にDMATとして出場する際に麻薬を携行・施用することは差し支えない」との見解を厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課麻薬係に確認済み(2011年5月)

※規格違いや同種同効薬への変更については同程度の効果が得られるような濃度・本数を各施設で考慮して下さい。また、災害の種類とフェーズに応じて必要な医薬品を各施設の判断で追加してください。

DMAT標準資機材(ロジスティクス関連機材)

1チーム(隊員5名)を想定

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

区分	品名	数量	備考
通信機器 & 記録機器	モバイルパソコン	2台	
	パソコン用予備バッテリー	1個	
	パソコン用ACアダプター	1式	
	データカード・ルーター	2個	
	LANケーブル	2本	
	USBメモリースティック	1個	1G程度
	モバイルプリンター	1台	プリンタードライバー付
	プリンター用ケーブル	1組	
	プリンター用ACアダプター	1式	
	プリンター用紙	500枚	
	プリンターインクカートリッジ	2組	
	小型プロジェクター	1台	
	接続ケーブル	1式	
	デジタルカメラ	1台	
	デジタルカメラ用充電器	1個	
	パソコン接続ケーブル	1組	
	衛星携帯電話(データ通信対応機種)	1台	BGAN・ワイドスターⅡ等
	衛星携帯電話用予備バッテリー	1個	
	衛星携帯電話用ACアダプター	1式	
	衛星携帯電話用外部アンテナ	1台	
	衛星携帯電話アンテナ用延長ケーブル	1式	
	衛星携帯電話用パソコン接続ケーブル	1式	
	トランシーバー	5台	可能であれば簡易業務用無線
	トランシーバー用充電器	5個	
	拡声器	1台	
	テーブルタップ	1個	3口(アース付)
	電源プラグ変換器(3P-2P変換)	2個	
	携行用バッテリー(医療機器用)	1台	
	車載用ACコンセント(インバーター)	1個	
	連絡先一覧	1冊	随時追加記載
	ノート(筆記用具)	5冊	
	簡易白板用シート	1箱	ポリオレフィン製
ホワイトボードマーカー	10本	黒・赤・青	
被災地域地図(広域:都道府県地図)	1冊		
被災地域地図(詳細:市町村地図)	1冊		

DMAT標準資機材(ロジスティクス関連機材)

1チーム(隊員5名)を想定

Ver.3.0(2023年4月28日改定)

区分	品名	数量	備考
生活用品 ・ 雑品	電波時計	1個	
	携帯ラジオ(可能であればワンセグTV)	1台	
	車載カーナビ(可能であればTV対応)	1台	
	ゴミ袋	20枚	
	ガムテープ	1個	
	トラテープ	1個	
	ロープ(10m程度)	1本	
	ティッシュペーパー	5箱	
	ウエットティッシュ	5個	
	荷造り紐	1個	
	毛布	5枚	
	寝袋	5個	冬季・寒冷地
	ポリタンク(折りたたみビニール製)	1個	
	簡易トイレ	5個	
	懐中電灯	2個	
	道路地図	1冊	
	被災地近隣地図	1冊	
	ブルーシート	1枚	
	万能ナイフ	1個	
	ビニールカッパ	5個	
ゴミ箱(針捨てBOX)	1個	感染性廃棄物用	
タイヤチェーン	1組	冬季・寒冷地(スタットレス可)	
非常食	ミネラルウォーター(500ml×24入り)	2箱	
	非常食(例:パン缶・惣菜缶等)	20食	
	インスタントコーヒー・お茶・味噌汁	1箱	
調理器具	カセットコンロ(簡易ストーブ)	1式	
	カセットコンロ用ボンベ	2個	
	やかん	1個	
	簡易食器	1式	
	紙コップ	20個	
	割り箸	50膳	

※収納にあたっては、コンパクトで機能的なケース等を用いたパッキングをおこなうこと。

DMAT標準装備(個人装備)1

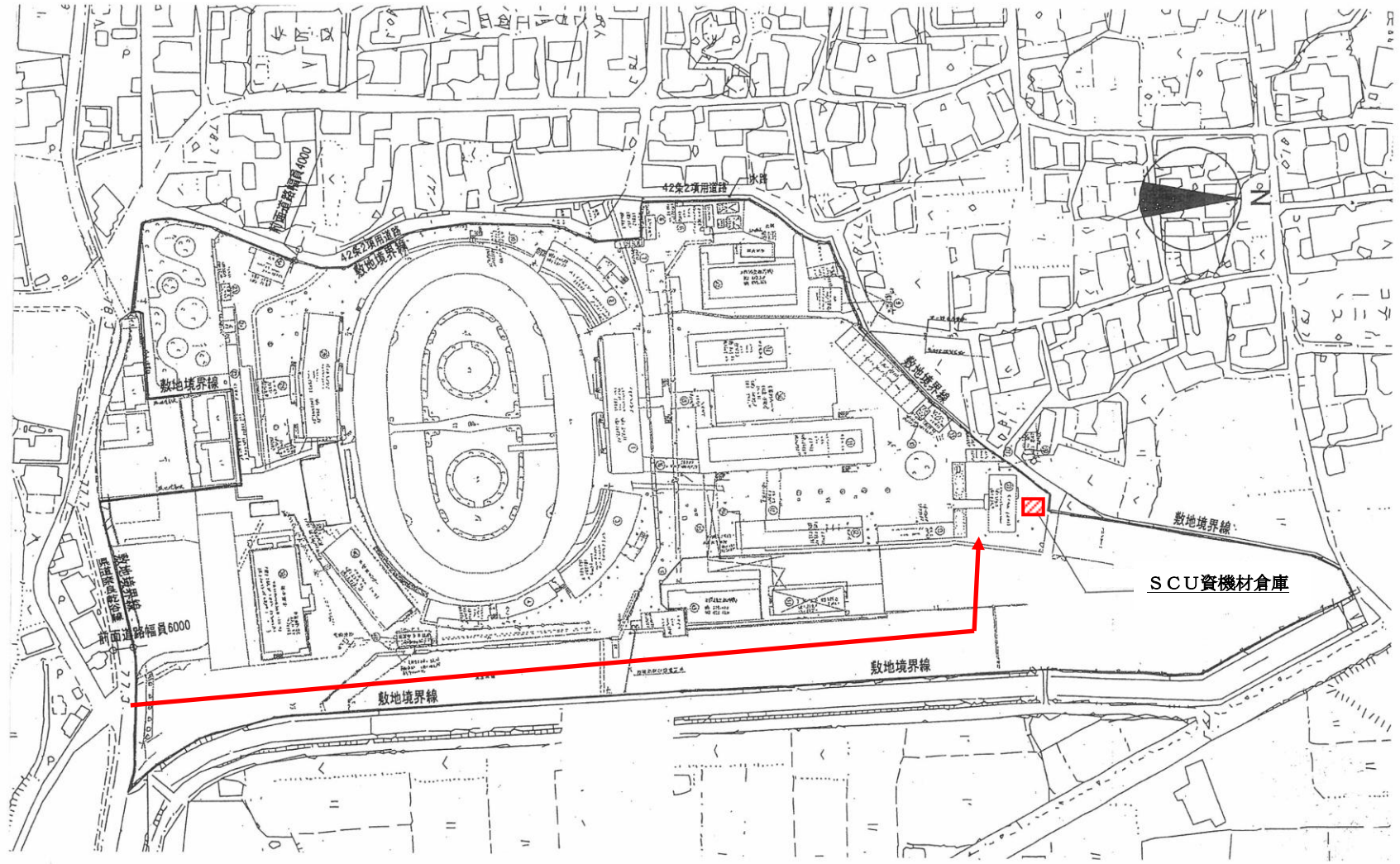
Ver.3.0(2023年4月28日改定)

区分	品名	数量	備考
服装	DMATジャケット(ベスト)	1	派遣時着用
	帽子	1	派遣時着用
	手袋	1	
	安全靴	1	派遣時着用
	災害服(上下)	1	派遣時着用
	ヘルメット	1	
	ヘッドランプ	1	
	ヘッドランプ用乾電池	2	
	ゴーグル	1	
	肘あて・膝あて	1	
	感染防護衣	1	
	ウエストバック	1	
	防塵マスク	1	
	レインコート・ポンチョ・カッパ	1	雨具
	防寒着	1	冬季
	白衣・手術着等	1	病院支援時に状況に応じ着用
	アイガード又はフェイスシールド	3枚	上記ゴーグルでも可
	ガウン	5枚	
	サージカルマスク	10枚	
	N95	5枚	
個人装備	日本DMAT隊員登録証	1	
	自動車運転免許証	1	免許所有者
	腕時計(秒針付き)	1	
	携帯電話	1	
	携帯電話充電器	1	
	着替え	1式	概ね3日
	タオル	1式	
	洗面道具	1式	
	常備薬	1式	必要に応じて
	現金(小銭を含む)	1式	別にチームとして必要額
	名刺	20	

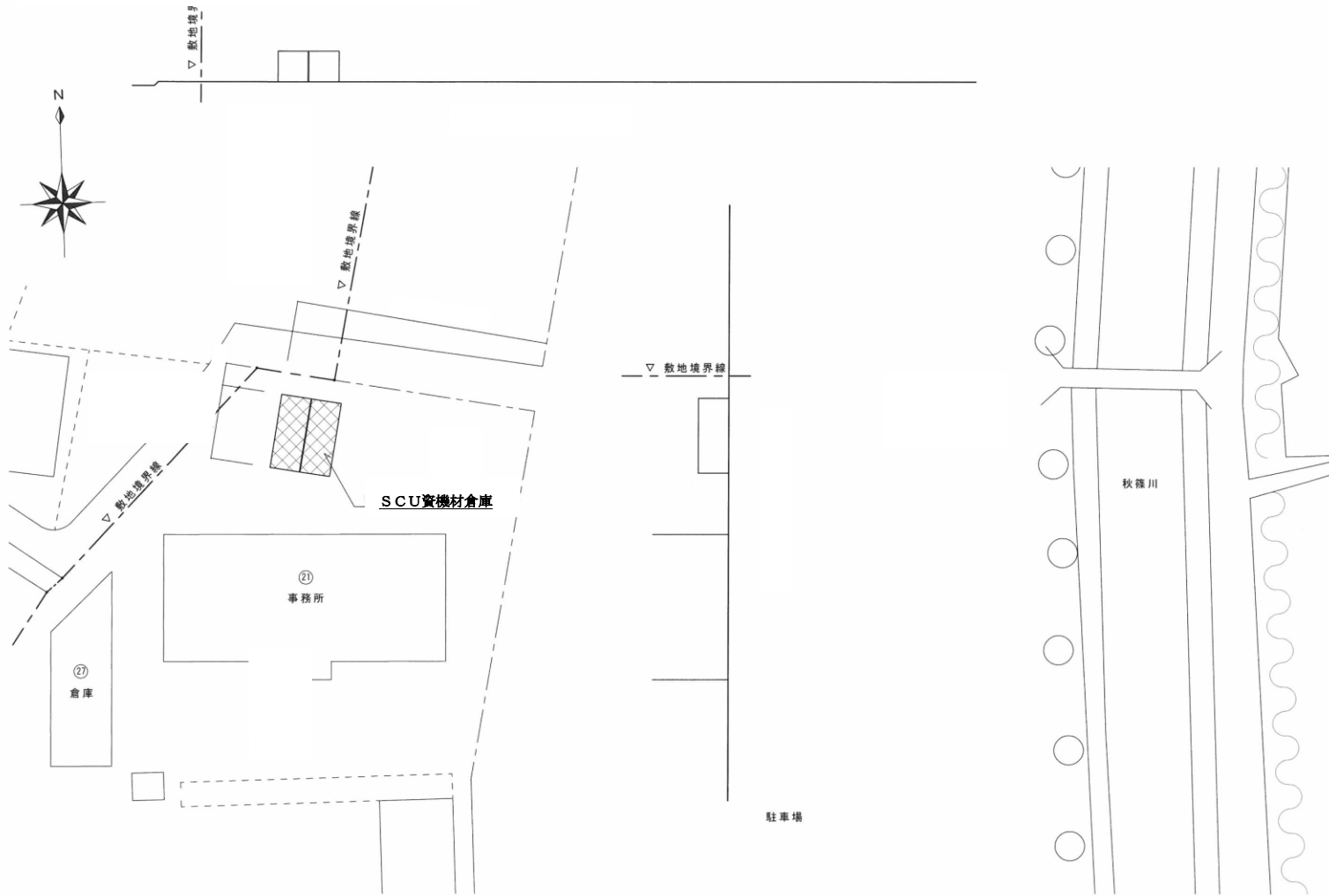
DMAT標準装備(個人装備)2

Ver.3.0(2023年4月28日改訂)

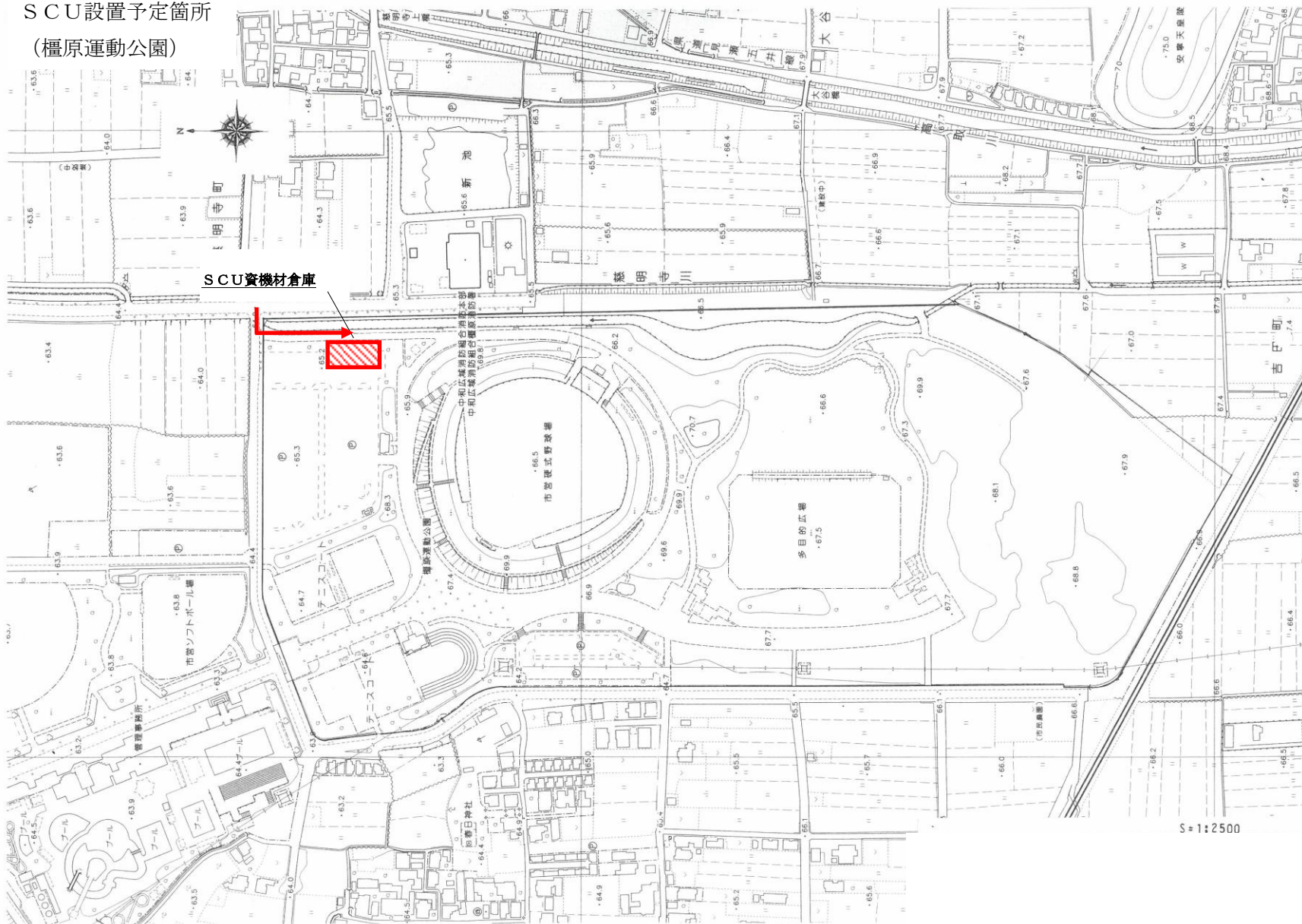
区分	品名	数量	備考
ウエストバック ク内装備	速乾性手指消毒剤	1	ウエストバックにて常に携行
	聴診器	1	
	ペンライト、乾電池	1	
	サージカルマスク	5	
	N95	2	
	アイガード又はフェイスシールド ※上記ゴーグルでも可	1	
	固定用テープ(2.5cm)	1	
	包帯	1	
	三角巾	1	
	サインペン・ボールペン	1	
	はさみ	1	
	ガーゼ	1	
	プラスチック手袋	5	



SCU設置予定箇所（競輪場その2）



SCU設置予定箇所  
(樫原運動公園)



SCU資機材倉庫

S=1:2500

SCU設置予定箇所  
(櫃原運動公園その2)



## ■奈良県SCU用資機材（防災機器）

No	品目	数量		内容
		競輪場	橿原運動公園	
1	エアータント	3	3	太陽工業 MQ442A
2	投光器	3	3	ハタヤ MLHA-410K
3	ポータブル電源	1	1	Jackery ポータブル電源 2000 JE-2000D
4	インバーター発電機(小)	5	5	YAMAHA EF2500i
5	ガソリン携行缶	2	2	容量20リットル
6	扇風機	3	3	日動工業 KO-L450E
7	遠赤外線ヒーター	8	8	コロナ DH-1113R
8	電源ドラム	8	8	日動工業 FW-E33
9	折りたたみ式リヤカー	2	2	東京都葛飾福祉工場 アルミ製6302
10	拡声器	2	2	TOA ER-1106S
11	ブルーシート	10	10	アイリスオーヤマ UVシート
12	折りたたみ式タンク	20	20	容量20リットル
13	LEDランタン	5	5	アイリスオーヤマ LEDランタン
14	毛布	20	20	カロンエコパック毛布
15	ベスト	20	20	差込ベスト
16	消火器	2	2	10号
17	工具セット	1	1	ドライバー／精密ドライバー／六角レンチ／カッター／ ウォーターポンププライヤー／ラジオペンチ／万能鋏／ハン マー／モンキーレンチ／コンベックス
18	SCU本部用テント(大)	1	1	ノルメカエイシア GKN-2(奥行2.69m／間口 5.35m／全高2.84m／軒高1.8m)
19	SCU本部用テント(小)	1	1	ミスタークイック T-13(奥行1.8m／間口3.6m／ 全高2.9m／軒高1.86m)

## ■奈良県SCU用資機材（医療機器）

No	品目	数量		内容
		競輪場	橿原運動公園	
1	折りたたみベッド	12	12	ロゴス プレミアムイメージアッセンムコット 73171005
2	担架	6	6	ノルメカエイシア ノルホスストレッチャー (ロングポールキャスター付)
3	ターポリン担架	12	12	ノルメカエイシア TA-18048
4	患者搬送袋	10	10	ノルメカエイシア Y-3001
5	患者搬送車(レスキューカー)	4	4	東京都葛飾福祉工場 レスキューカー
6	バックボード	12	12	ファーノ ハイテクバックボード モデル2010
7	バックボード頭部固定具	5	5	ファーノ ヘッドイモビライザー モデル445 寸法：25cm×39cm×15cm
8	バックボードストラップ	5	5	ファーノ バックボードストラップセット モデル 436-BK 収納ケース附属
9	酸素ボンベ (ボンベカート)	50 (12)	50 (12)	医療用酸素500リットル／本
10	流量計付減圧弁 (加湿瓶付)	12	12	新鋭工業 FLW-B15-SB
11	酸素マスク	成人(30) 小児(10) 乳児(10)	成人(30) 小児(10) 乳児(10)	新鋭工業 成人用 NK-3671 小児用 NK-3670 乳児用 NK-3687
12	点滴架台	12	12	村中医療器 プラムレンジャーガートル台
13	処置用カート	2	2	サカセ化学工業 CUA3-A026EA
14	N95マスク	300	300	ノルメカエイシア Y-1120
15	サージカルマスク	500	500	ノルメカエイシア Y-1132
16	ディスポ手袋	180	180	東レ センシタッチ・プロ
17	消毒液	10	10	カネパスソフト500ml
18	医療従事者ベスト	各10	各10	赤・緑・黄(医師・看護師・事務)

## ■奈良県SCU用資機材（情報通信機器）

No	品目	数量		内容
		競輪場	橿原運動公園	
1	ホワイトボード	8	8	コマイ 4203-3929/マーカー(赤・黒・青 各10本) /マグネット(80個)/マグネットバー(40本)/イ レイサー(10個)
2	パイプ椅子 (専用台車)	20 (1)	20 (1)	アイリスチトセ CAL-X01M
3	折りたたみ机 (専用台車)	10 (1)	10 (1)	アイリスチトセ OT-1860
4	大型モニター	1	1	パナソニック TH-L50C65
5	テレビアンテナ	1	1	DXアンテナ UAD1900
6	アンテナケーブル	1	1	長さ5m (BS・CS対応)
7	録画用ビデオ	1	1	Sony handycam HDR-GW66V
8	デジタルカメラ	1	1	オリンパス STYLUS TG-830 Tough
9	ICレコーダー	2	2	Sony ICD-UX543F
10	ノートパソコン	3	3	東芝 dynabook KIRA V634/27KS PV63427KNXS
11	パソコン用モニター	1	1	Acer S271HLDbid
12	プロジェクター (スクリーン)	1 (1)	1 (1)	NEC ViewLight NP-V311WJD (スクリーン100インチ)
13	FAX対応プリンター	1	1	ブラザー ジャスティオ MFC-J6510DW
14	携帯プリンター	2	2	Canon Pixus iP100
15	トランシーバー	10	10	アルインコ DJ-DPS50B
16	衛星携帯	0	1	Cobham(Thrane & Thrane)Explorer710
17	スターリンク	1	0	Starlink HPタイプ
18	OAタップ	6	6	エレコム T-Y055A
19	USBメモリー	5	5	容量8G
20	プリンターケーブル	2	2	長さ3m (USBタイプ)
21	LANケーブル	10	10	長さ10m
22	BGAN用アンテナ延長ケーブル	1	1	長さ30m

## ■奈良県SCU用資機材（病院保管分）

No	品目	数量		内容
		競輪場	橿原運動公園	
1	生体情報モニター	3	3	日本電光 BSM1763
2	輸液ポンプ	3	3	テルモ TE-281N
3	人工呼吸器	1	1	仏国エアキートメディカルシステム社 MONNAL T60
4	携帯用吸引器	4	4	ブルークロス 3WAY-750S-2
5	自動体外式除細動器(AED)	1	1	日本光電 AED-3100

## 奈良DMAT設置運営要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、県内外で地震、台風等の自然災害や、航空機事故、列車事故等の大規模な人為災害、新興感染症のまん延など（以下「災害等」という。）が発生した場合に、迅速に救出・救助部門と合同して救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）（以下「奈良DMAT」という。）を派遣する際の編成、運営等に関し必要な事項を定めることにより、災害時における医療救護体制の充実強化を図ることを目的とする。

### (活動範囲)

第2条 奈良DMATの活動は、次に掲げる範囲において行うものとする。

- (1) 県内外の災害等の被災地内
- (2) 県内外での災害等の被災地から搬送、広域搬送等を実施する場合にあっては、被災地外

### (活動内容)

第3条 奈良DMATは、原則として、被災地内で次に掲げる活動を行う。

- (1) 被災地域内の災害拠点病院等に設置されるDMAT活動拠点本部に行き、その調整下で被災地域での活動を行う。
  - (2) DMAT本部、医療機関、SCU、災害現場等において、本部活動、搬送、情報収集・共有、診療等を行う。また、現地のニーズに応じて柔軟に活動する。さらに、他の保健医療福祉活動チーム等と、情報共有を含めた連携を行う。
  - (3) 新興感染症患者の対応を行う県の組織・部門や、クラスターが発生した介護施設等の支援等
  - (4) 空路で被災地に参集した奈良DMATについても、状況に応じてこれらの活動に従事する。その場合、移動手段の確保についてはDMATコーディネーションチームが支援する。
  - (5) 医療機関に派遣された奈良DMATは、当該医療機関での活動中は、当該医療機関長の指揮下に入る。
  - (6) 医療機関に派遣された奈良DMATは、当該医療機関の被害状況を把握し、必要に応じて、EMISで発信する。
  - (7) 医療機関に派遣された奈良DMATは、把握した被害状況に応じて、物資支援、搬送支援、診療支援等の活動を行う。
  - (8) 奈良DMATは、自施設や関係機関等の搬送車両および航空機等に同乗し、医療搬送を実施する。
  - (9) 災害現場で活動する奈良DMATは、当該地域で活動中の消防機関等と連携し、トリアージ、緊急治療等を行う。
- 2 前項各号に掲げるもののほか、奈良DMATは、被災地内では対応困難な重症患者に対する根治的な治療を目的に航空機等を用いて被災地外に搬送中の患者について、症状監視及び必要な処置を行うものとする。（広域医療搬送という。）
- 3 奈良DMATは、移動手段、医薬品等の医療資器材の調達、生活手段等については、自ら確保しながら継続した活動を行うことを基本とする。

### (指定病院)

第4条 知事は、奈良DMATの設置並びに編成及び運営につき、協力を申し出た県

内の災害拠点病院等を奈良DMAT指定病院（以下「指定病院」という。）として指定するものとする。

- 2 知事は、県と指定病院との間で奈良DMATの派遣に関する協定を締結するものとする。
- 3 知事は、第1項による指定をしたときは、指定病院に対し、指定証（様式第1号）を交付するものとする。

（編成）

第5条 奈良DMATは、指定病院の職員をもって編成するものとする。

- 2 奈良DMATは、4名で編成するチームを基準とし、チーム員は医師1名、看護師2名及び業務調整員1名で構成するものとする。
- 3 県内局所集団災害（交通災害、爆発、崩壊等の限られた範囲で発生した災害をいう。）等の発生時におけるチーム構成は、前項の規定にかかわらず、柔軟に対応するものとする。
- 4 奈良DMATは、原則として、厚生労働省が日本DMAT活動要領（平成18年4月7日付け医政指発第0407001号通知）で定める日本DMAT登録者として認証された者で構成するものとする。
- 5 1の指定病院内でDMATを編成できない場合は、必要に応じ、県内の他の指定病院のDMAT隊員とともに奈良DMATを編成するものとする。

（隊員の登録）

第6条 知事は、指定病院からの推薦に基づき、厚生労働省主催の日本DMAT隊員養成研修を修了し、日本DMAT登録者として認証された者を奈良DMAT隊員として奈良DMAT隊員登録者名簿（様式第2号）に登録するものとする。

- 2 知事は、隊員に対し、奈良DMAT隊員登録証（様式第3号）（以下「登録証」という。）を交付するものとする。
- 3 指定病院の長は、毎年4月1日現在の隊員の状況を知事に報告するとともに、隊員の記載事項に変更等が生じたときは、奈良DMAT隊員登録者（更新・変更・抹消）届出書（様式第4号）により、知事に対し、届け出るものとする。
- 4 知事は、前項の規定による届出を受理した場合において、更新又は変更該当する者がいるときは第1項に規定する登録者名簿を訂正し、抹消に該当する者がいるときは登録を抹消し登録者名簿にその旨を記載するものとする。
- 5 知事は、前項の更新又は変更該当する者に対し、第2項に準じて登録証を交付するものとする。
- 6 隊員は、退職等により資格を失ったときは、速やかに、登録証を知事に返却するものとする。
- 7 登録証の有効期間は、発行した日の属する年度を含めた5年度間とする。

（リーダー及び統括）

第7条 奈良DMATの各チームにリーダーを置く。

- 2 リーダーは、チームの医療救護活動を統括する。
- 3 複数のDMATが同一の災害等の現場に派遣されたときは、原則として、当該現場に最初に到着した奈良DMATのリーダーを統括者とし、当該統括者は、当該災害現場で活動する他のDMATのリーダーを統括するとともに、現地救護指揮本部等との連携を図り、奈良DMATの医療活動全体を統括するものとする。
- 4 前項の場合において、最初に当該現場に到着した奈良DMATのリーダーが日本DMAT活動要領に規定する統括DMAT登録者ではなく、2番目以降に到着した

奈良DMATのリーダーに統括DMAT登録者がいるときは、到着順位の早い奈良DMATのリーダーである統括DMAT登録者が統括者になるものとする。

(出動基準)

第8条 奈良DMATの出動基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 県内において災害等により、5名以上の重症・中等症の傷病者が発生すると見込まれる場合
- (2) 前号に掲げるもののほか、県内における災害等の被災者の救出に時間を要する場合等であって、奈良DMATが出動し、及び対応することが効果的であると認められる場合
- (3) 県内において、新興感染症に係る患者が増加し、通常の県内の医療提供体制の機能維持が困難、又はその状況が見込まれる場合
- (4) 国又は他の都道府県から奈良DMATの出動要請があった場合

(出動)

第9条 知事は、前条の出動基準に照らし、奈良DMATを出動させ対応することが効果的であると判断したときは、指定病院の長に対して奈良DMATの出動を要請するものとする。

- 2 指定病院の長は、前項の出動要請を踏まえ、奈良DMATの出動が可能と判断した場合は、速やかに、知事に連絡するとともに、知事の指示に従い奈良DMATを出動させるものとする。
- 3 指定病院の長は、緊急やむを得ない事情により、知事の要請を受ける前に奈良DMATを派遣した場合は、速やかに、知事に報告し、その承認を得るものとする。
- 4 前項の規定により知事が承認した奈良DMATの出動は、知事の要請に基づく出動とみなす。
- 5 県内局所集団災害等の発生時において、消防機関等の要請を受けて指定病院が奈良DMATを出動させた場合は、知事の要請に基づく出動とみなす。
- 6 知事は、奈良DMATの出動要請を行う際には、関係機関と調整の上、奈良DMATの想定される業務及び現場の状況等の情報を指定病院に伝えるものとする。
- 7 現場での活動が終了した後、出動した奈良DMATは、指定病院の長を通じて、奈良DMAT活動報告書(引継書)(様式第5号)により活動記録を知事に報告するものとする。

(待機要請)

第10条 知事は、災害等が発生し、第8条の出動基準に該当することが見込まれる場合は、指定病院の長に対し、奈良DMATの待機を要請するものとする。

- 2 待機要請の手順は、出動要請の手順に準じて行うものとする。
- 3 指定病院は、次に掲げる場合にあつては、知事からの要請を待たずに、奈良DMAT出動のための待機を行うものとする。
  - (1) 奈良県内で震度5強以上の地震が発生した場合
  - (2) 近畿ブロック(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県)及び、隣接県(三重県)で震度6弱以上の地震が発生した場合、特別警報が発出された場合
  - (3) 中部ブロック(富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県)及び中国ブロック(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)、四国ブロック(香川県、愛媛県、徳島県、高知県)で震度6強が発生した場合
  - (4) その他の地域で震度7の地震が発生した場合、大津波警報が発表された場合
  - (5) 前各号に掲げるもののほか、指定病院の長が奈良DMATの出動を要すると判

断する災害が発生した場合

なお、奈良DMATの待機解除については、厚生労働省及びDMAT事務局が解除する。

(装備器材)

第11条 奈良DMATが出動するときは、県が基準を定めたユニフォームを着用し、及び医療資器材を携行するものとする。

(補償)

第12条 知事は、奈良DMATの医療救護活動に伴う事故に対応するため、隊員の傷害保険等に参加するものとする。

(協議)

第13条 この要綱に定めるもののほか、奈良DMATの編成、運営等に関し必要な事項は、知事と指定病院の長が協議の上、決定するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成21年12月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現にDMATを設置している病院は、第4条第1項の奈良DMAT指定病院とみなす。

附 則

この要綱は、平成25年3月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年6月30日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年3月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年3月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和8年3月31日から施行する。

## 奈良DMAT運用計画

### 第1 目的等

この計画は、奈良DMAT運営要綱（以下「運営要綱」という。）第4条第1項に基づき指定された奈良DMAT指定病院（以下「指定病院」という。）が、当該都道府県内における災害等の発生時に効果的な活動を行うことができるよう具体的な運用について定めるものである。

### 第2 出動要請の手続き

(1) 奈良DMATの派遣出動は、県からの出動要請を基本とするが、突発的な災害等の発生に対応するためには、指定病院が地域の消防機関等からの災害等の情報、若しくは要請に基づき奈良DMATを出動させる場合も想定する必要がある、県はこれを認めるものとする。ただし、この場合指定病院は奈良DMATを出動させた旨を速やかに県に報告し、その承認を受けなければならない。

(2) 消防機関は、運営要綱第8条（1）及び（2）の災害等が生じた場合、速やかに奈良県救急医療情報システムに対しエリア災害登録を行うとともに、奈良県災害対策本部（災害対策本部が設置されていない場合は県防災統括室（休日及び夜間は宿日直室。以下「県災害対策本部等」という。））に対し災害発生状況を報告しなければならない。

尚、運営要綱第9条第5項により、指定病院に出動を要請する場合は、医療政策局地域医療連携課に連絡するものとする。

(3) 県災害対策本部等は前項の基準を超える災害発生の情報を受けた場合、県地域医療連携課に対し災害発生状況を報告しなければならない。

(4) 県及び消防機関は奈良DMATの出動に際し、被災現場に関する情報を指定病院に伝えるように努める。

(5) 指定病院は、奈良県救急医療情報システムにより災害の発生を覚知したときはDMATチームに災害発生を伝えるように努める。

(6) 消防機関は、県内において運営要綱第8条（1）及び（2）の基準による災害等が生じた場合、奈良DMATを速やかに災害現場に到着させるため、指定病院からの要請に応じて、消防車両によるDMAT隊員の搬送支援に可能な限り努める。

(7) 県災害対策本部等は県内外において災害等が発生し、県がDMATの派遣要請を行なった場合、必要に応じて消防防災ヘリコプターによる奈良DMAT隊員の搬送業務を行うように努める。

### 第3 出動要請の基本的な考え方

県は、県内で災害等が発生し、運営要綱第8条の出動基準に該当する場合は、被災地外又は被災地内の比較的被害程度の軽い地域であり、かつ、現地に速やかに到着できる地域の指定病院に対して、奈良DMATの出動を要請する。ただし、状況により、同時に複数の奈良DMATの出動要請を行なう場合や順次出動要請を行なう場合もある。

#### 第4 連絡体制等

- (1) 県、各指定病院は奈良県救急医療情報システム及び広域災害救急医療情報システム（EMIS）を活用して奈良DMATの活動に必要な情報を積極的に収集し、情報の共有を図る。
- (2) 県は、必要に応じて、市町村、消防機関、日本赤十字社奈良県支部、県医師会等に対して情報を提供し奈良DMATの活動の支援を要請する場合がある。

#### 第5 DMAT派遣本部

奈良DMATを派遣した指定病院は、当該病院内に「DMAT派遣本部」を設置し、以下の業務を行う。

- ・ 出動した奈良DMATの活動の把握及び必要な支援
- ・ 出動した奈良DMATから現地情報を収集
- ・ 収集した現地情報を県、国へ伝達
- ・ 奈良県救急医療情報システム及び広域災害救急医療情報システム（EMIS）への情報入力

#### 第6 各DMAT本部等の役割

##### (1) DMAT調整本部

- ・ 県は、運営要綱第8条（1）又は（2）の規定により奈良DMATが出動した場合、県災害対策本部、災害拠点病院等から適切な場所を選定し、管内等で活動するすべてのDMATを指揮するDMAT調整本部を設置する。
- ・ DMAT調整本部は、県災害対策本部及び県保健医療福祉調整本部の指揮下に置かれる。なお、保健医療福祉調整本部とDMAT調整本部が双方設置されている場合は、双方が同じ業務を行う弊害が無いように保健医療福祉調整本部と都道府県DMAT調整本部で調整の上、連携して業務を行うことが望ましい。
- ・ 県は、原則として、災害医療コーディネーターのうち統括DMAT登録者である者の中から、DMAT調整本部の本部長（以下、本部長）を任命することが望ましい。
- ・ 県は、あらかじめDMAT調整本部の責任者となる予定の者として指名していた統括DMAT登録者の中から本部長を任命する。ただし、やむを得ない場合は、あらかじめ指名していた者以外の統括DMAT登録者を本部長代行として任命することができる。
- ・ 県は、都道府県DMAT調整本部の要員として、DMAT事務局から派遣される要員、当該都道府県内外の統括DMAT登録者、DMATコーディネーションチーム隊員等の支援を受ける。
- ・ 県は、都道府県DMAT調整本部において、必要に応じて消防等関係機関からの連絡要員を受け入れる。
- ・ DMAT調整本部の業務は日本DMAT活動要領に準ずるほか、必要に応じて県保健医療福祉調整本部内で調整し決定する場合もある。

## (2) DMAT活動拠点本部

- ・DMAT調整本部は、必要に応じてDMAT活動拠点本部を設置する。
- ・DMAT活動拠点本部の責任者は、統括DMAT登録者が担当する。
- ・DMAT活動拠点本部は、DMAT調整本部の指揮下に置かれる。
- ・DMAT活動拠点本部は、DMAT調整本部により、災害拠点病院等から選定され、必要に応じて複数箇所設置される。
- ・DMAT活動拠点本部に指定された医療機関の奈良DMAT（不在時は他医療機関等から派遣された奈良DMAT）の責任者は、都道府県、厚生労働省等と連携し、DMAT活動拠点本部の立上げを行い、当面の責任者となる。
- ・DMAT活動拠点本部に指定された医療機関の奈良DMAT（不在時は他医療機関等から派遣された奈良DMAT）の責任者が統括DMAT登録者でない場合は、統括DMAT登録者が到着後に、権限を委譲する。
- ・DMAT活動拠点本部が設置された災害拠点病院は、DMAT活動拠点本部の場所やDMATの待機場所の確保、通信インフラ、資器材の提供などの支援を行う。
- ・DMAT活動拠点本部は、本部要員として、DMAT事務局から派遣される要員、県内外の統括DMAT登録者、DMATコーディネーションチーム隊の支援を受ける。
- ・DMAT活動拠点本部において、必要に応じて消防等関係機関からの連絡要員を受け入れる。
- ・DMAT活動拠点本部は、必要に応じて以下の業務を行うものとする。
- ・DMAT活動拠点本部の業務は日本DMAT活動要領に準ずるほか、必要に応じてDMAT調整本部内で調整し決定する場合もある。

## (3) DMAT指揮所

- ・DMAT指揮所は、DMAT活動拠点本部又は都道府県DMAT調整本部により、必要に応じて設置される。DMATが活動する病院ではDMAT病院支援指揮所、SCUではDMAT・SCU指揮所、災害現場等ではDMAT現場活動指揮所として設置される。その他、必要に応じて、DMATの活動場所に指揮所が設置される。
- ・指揮所の責任者である「リーダー」は、DMAT活動拠点本部又は調整本部により任命される。
- ・DMAT指揮所は設置したDMAT本部の指揮下に置かれる。
- ・災害拠点病院またはDMAT指定医療機関にDMAT病院支援指揮所が設置された場合、当該施設所属のDMAT隊員は、自施設の災害対策本部と病院支援指揮所との連携を図る。
- ・DMAT指揮所の業務は日本DMAT活動要領に準ずるほか、必要に応じて設置したDMAT本部内で調整し決定する場合もある。

## (4) DMAT参集拠点本部

- ・DMAT調整本部又はDMAT事務局は、必要に応じてDMAT参集拠点にDMAT参集拠点本部を設置する。
- ・DMAT参集拠点本部は、DMAT調整本部又はDMAT事務局の指揮下に置かれる。

- ・DMAT参集拠点本部の責任者は、統括DMAT登録者が担当する。
- ・DMAT事務局が参集拠点本部を設置した場合、設置後、速やかに県に連絡する。
- ・DMAT参集拠点本部は、災害拠点病院、空港、高速道路のSA、PA等、派遣された奈良DMATが最初に集合する場所に置かれる参集拠点に設置する。
- ・DMAT参集拠点本部に先着した奈良DMATは、県、厚生労働省等と連携し、DMAT参集拠点本部の立上げを行い、当面の責任者となる。
- ・先着したDMATの責任者が統括DMAT登録者でない場合は、統括DMAT登録者が到着後に権限を委譲する。
- ・DMAT参集拠点本部は、本部要員として、DMAT事務局から派遣される要員、県内外の統括DMAT登録者、DMATコーディネーションチーム隊員等の支援を受ける。
- ・DMAT参集拠点本部において、必要に応じて消防等関係機関からの連絡要員を受け入れる。
- ・DMAT参集拠点本部の業務は日本DMAT活動要領に準ずるほか、必要に応じてDMAT調整本部内で調整し決定する場合もある。

## 第7 奈良DMATの活動

- (1) 被災地域内の災害拠点病院等に設置されるDMAT活動拠点本部に行き、その調整下で被災地域での活動を行う。
- (2) DMAT本部、医療機関、SCU、災害現場等において、本部活動、搬送、情報収集・共有、診療等を行う。また、現地のニーズに応じて柔軟に活動する。さらに、他の保健医療福祉活動チーム等と、情報共有を含めた連携を行う。
- (3) 空路で被災地に参集した奈良DMATについても、状況に応じてこれらの活動に従事する。その場合、移動手段の確保についてはDMATコーディネーションチームが支援する。
- (4) 医療機関に派遣された奈良DMATは、当該医療機関での活動中は、当該医療機関長の指揮下に入る。
- (5) 医療機関に派遣された奈良DMATは、当該医療機関の被害状況を把握し、必要に応じて、EMISで発信する。
- (6) 医療機関に派遣された奈良DMATは、把握した被害状況に応じて、物資支援、搬送支援、診療支援等の活動を行う。
- (7) 奈良DMATは、自施設や関係機関等の搬送車両および航空機等に同乗し、医療搬送を実施する。
- (8) 災害現場で活動する奈良DMATは、当該地域で活動中の消防機関等と連携し、トリアージ、緊急治療等を行う。

## 第8 広域医療搬送等

- (1) 県、厚生労働省及び関係省庁は、大規模震災時等、重傷を含む多数の負傷者が発生するほか医療施設の被災による機能低下や医療従事者の負傷などにより、十分な医療を確保できないことが予想される場合にあっては、広域医療搬送拠点を設置し、

被災地外への搬送を行う。

- (2) 県、厚生労働省及び関係省庁は、広域医療搬送拠点に臨時医療施設（SCU・ステージングケアユニット）を設置するとともに広域医療搬送を担当するDMATを統括するDMAT・SCU指揮所を設置する。
- (3) 広域医療搬送の要請を受けた奈良DMATは、指定された航空搬送拠点に参集する。
- (4) SCU活動を行う奈良DMATは、DMAT・SCU指揮所の指揮下で活動を行う。
- (5) SCU活動を行う奈良DMATは、SCUにおける患者の症状の安定化や搬送のためのトリアージなど中断なき医療を行う。
- (6) SCU活動を行う奈良DMATは、医療資器材・医薬品等の使用状況を把握し、必要があれば、DMAT・SCU指揮所を通じて県等に調達等の依頼を行う。
- (7) 航空機内の医療活動を担当する奈良DMATは、DMAT・SCU指揮所の指揮下で活動を行う。
- (8) 航空機内の医療活動を担当する奈良DMATは、航空機内における患者の症状監視と必要な処置を行う。

#### 第9 後方支援（ロジスティック）

奈良DMATは、移動手段、医薬品等の医療資器材の調達、生活手段については、自らが確保しながら継続した活動を行うことを基本とするが、県、消防機関及び医療機関等は奈良DMATの活動が効果的なものとなるよう可能な限り支援、調整を行う。

#### 第10 県の役割

県医療政策局地域医療連携課は、奈良DMATの運用について以下の業務を行う。

- ・奈良DMATの出動要請
- ・関係機関との連絡調整
- ・指定病院等に対する奈良DMATが必要な被災現場に関する情報の提供
- ・輸送手段の確保に関する調整及び情報提供

#### 附 則

この計画は、平成21年12月1日から運用する。

#### 附 則

この計画は、平成25年3月11日から運用する。

#### 附 則

この計画は、令和5年3月31日から運用する。

#### 附 則

この計画は、令和8年3月31日から運用する。

# 奈良 DMAT 出動要請書

年 月 日

殿

奈良県知事

災害等の発生に伴い、貴院からの奈良 DMAT の出動が必要と認められるので、奈良 DMAT 設置運営要綱に基づき、奈良 DMAT の出動を要請します。

記

1 出動要請日時	年 月 日 午前・午後 時 分
2 出 動 人 員	医師 名 看護師 名 業務調整員 名 計 名
3 出 動 先	
4 備 考 (被災地及び傷病者の状況等)	

## 奈良 DMAT 出動報告書

年 月 日

奈良県知事 殿

病院長

奈良 DMAT の出動について、下記のとおり決定しましたので報告します。

### 記

1 出動日時	年 月 日 午前・午後 時 分		
2 出動人員	職種等	氏名	連絡先
	医師		
	看護師		
	業務調整員		
3 出動先			
4 移動方法			
5 備考			

※県担当課は、本様式の送付を受けた後、要請元消防機関へ写しを送付するものとする。

奈良DMAT出動要請(依頼)書

受信日時	令和 年 月 日( ) 時 分現在
要請(依頼)機関名	TEL 発信者 FAX
発生場所及び発生時間	奈良県 (発生時間) 令和 年 月 日 市・町・村 午前・午後 地内 時 分
現場指揮者	
現場の状況	
要請を必要とする理由	
傷病者の状況	人数:(男性 人、女性 人) ※不明な場合は推定 傷病程度: その他:
備考	

(要請に係る手順)

【平日昼間】

- ① 電話で地域医療連携課に出動要請を依頼するとともに、本様式を FAX 送信する。  
(地域医療連携課より、DMAT 指定病院へ出動を要請し、結果を消防機関に連絡)

[電話番号] 0742-27-8935(直通) 0742-22-1101(代表)  
[FAX番号] 0742-22-2725

【休日・夜間】

- ① 電話で下記担当者に出動要請を依頼するとともに、本様式を FAX 送信する。  
(担当者より、DMAT 指定病院へ出動を要請し、結果を消防機関に連絡)

[電話番号] (1)地域医療連携課 課長補佐または主幹  
(2)地域医療連携課 係長  
(3)地域医療連携課 課長  
[FAX番号] 0742-22-2725

- ② ①に繋がらない場合は県立医科大学附属病院へ DMAT の出動を要請する。

[電話番号]

※①については(1)番から連絡し、繋がらない場合は(2)番以降に連絡して下さい。

県立医科大学附属病院へ連絡後も、DMAT 担当者への連絡は継続して下さい。